蟻を見て學べ

№13187

蟻を見て學べ

蟻はむしの中にてもいとちひさいものであります、或るありはわたくしどもがやうやく見ることができる程ちひさく又一番大きい蟻でも小供の小ゆびのさきよりも長くはありませぬ、私共はちよつとのうちに數百疋の蟻をふみつぶすことはいとたやすく大抵の人はこのむしをきらひます故此虫のことを考へる人は實にすくなふござります併しむかしから一だん利こうだとひやうばんのあるソロモンといふ方は私共にちひさな蟻を先生として前に置てそのいたします所を手本としてかしこくおなりなさいとおつしやいました、例へば、あなた方は、日曜學校、又はあたりまへの學校にゆき、自分の組へまゐりまして、或時に、あなたの先生がおいでがなかつたならば、あなたがたは多分あ、今日ハ私共の稽古がありませんと、心の中におもひませ

そ、しかしその時、あなたがたが待て居ります、折柄ちひさな蟻が、こしかけへ、はひあがるのを見ます、そふしてありがだん〳〵はひ上て、直に腰掛の上へあがつてしまひます、あなたは蟻が何をするかと思て、一生けんめいになつて、それを見つめませう、その時ちきに蟻はこしかけの丁度まんなかに、すわりまして、よく犬が前足をあげて、すわりますやうに、この蟻もそふいたしました、そふして利こうな、ぢよさいないかほつきをして居りました、そふしてまた其ちひさい頭で、ちやんとおじぎをして話をはじめました、まあ此事はどんなにおかしう、ございましたろう、蟻の申ますには、私のわかきおともだちよ、あなたがたは、今日わたくしを、あなた方のしんせつな、先生の代になることを、赦して下さいませうか、私は實にちひさい者でありますことは、自分でも知て居ますが、どうぞこのちひさいわたくしを、きらわないで

ください、私はよむこともしりませんし、またあなたがたの先生が、常におはなしをなさいます聖書のあるおどろくべきことを、說明することも、まねすることもできませぬけれども、私は自分のこと、私のぞくして居る、むれのことに付て、おはなし申しとうございます、私共の蟻のなかまは、きたいなものでございます、それゆゑ多分わたくしどもの生活することにつきおき、なさいますなら、あなたがたは私共のなれやならはしに付て、お感じなさいまして、よいけいこを、おまなびなさいませう、と、

さて、もし、このやうな實事がありましたならば、あなたがたの、ちひさいありの先生が、話すことは澤山おもしろいことがござりませう、まづ蟻は自分たちのすまゐます家のことに付て申します、それは四十階ありまして、其四十階のわけは、二十階は地の下にありて、二十階は地の上にたて、ありますから、兩方で四十階

になります、またありのいろ〳〵の商賣に付て話しませう、即ち或ものは土かたでござりまして、土をほります、ある者は石屋でござります、そふしてまた大工もござります、其家の有様ははしらでも、もちあげてある、まるがたの屋根で、奥行のながい、きたいな家をたて、そふしてたくさんの大口のある、さじきのやうな、だんだんに成ておりますたくさんの室もありまして、內を木でたてます、又或者は傅でござります、そふしていつでも、ちひさいものが、はたらく人でござりまして、自分たちのだんなの用をいたします或者は兵卒でござりまして、若しじぶんたちの仲間が自分たちを、おそひますやうなときに、それをふせぐやうに、用心して、守て居るのが、やくでござります、

今申しましたことや、また外のめづらしいことを、蟻がはなしーましたなら、私はあなたがたは、このちひさな先生がはなしましたことを、生涯覺てお出なさることとは、うけあひます、併しこのやうな事は決してありませぬこれはたゞ想像いたしました譬でござります、蟻は何かいふことができませうが、あなた方のやうに、日本語はできませぬ、ことはしれたことですから私共にはわかりませぬ、それでもきつとありたちは、おたがひにわかるしかたがありませう、ありはわたくし共に教へますことができませぬが、わたくし共は、蟻を見て學ぶことができます今申しました事は丁度ソロモンが私共にまなべとて、くださいました題と同じことでござります、すなはち蟻をみて其いたしますことを考へてりこうにおなりなさいとおつーやいました事を今私共は實地にその通りいたします私共はありの行を考へなければなりません、それは即ち如何にして彼が生活し又如何にしてはたらくかをたづねそふして彼から私共はどふいふ敎を學ぶかを見

出す爲でございます、私どもは蟻から五ツのけいこを學ぶ事ができます、今私は其五ツをだん〱におはなし申しとふござります

第一ハ勉強のことでござりますわたくし共は蜂が勉強の事を私共に教ますと申ますしかしはちもよくべんきやういたしますがありの方が勉強の手本にハ、なほようござります

私共が若し此ありの仲間が集てある一ッを見ますならば恰どわたくし共のわりあひで比較致ますと一ッの町とも申されませう、それは勿論地の中でござります併し若しわたくしどもが其上を取て中とのぞきますならば實にいそがしいありさまをみます、此ちいさい町は東京や大坂よりももつと人口が多くござりますそれゆゑ大へんに蟻があつまりまして、自分たちの爲にいたします仕事が大そうござります、扨まづさきにもりをす

る事をみます、この所にちひさい室がござります此へやのゆかはたいてい米つぶ或は麥つぶぐらいな大きさのしろいもので一ぱいになつて居ます此等は蟻のたまごでござりましてあかごのありでござります、さて此あかごハちつともありのやうにはみへませんでかへつてちひさいべつの虫のやうでござります、しかしこれハみなあかごでござります、只今まへにまをしました多くの蟻の内で澤山のあかごのありの中へまゐりますのはうばでござりまして此うばたちハあかごの世話をいたしますをでずゐぶんいそがしうござります、そふして又なか〱勉強家でなければなりませぬ、このうばたちが何をしますかとみますならあかごたちをきれいにしておかなければなりませぬことでそれですからうばハあかごたちのまわりへまゐりまして少しのきたない物でも皆ふきとりますけれどもみなそうし

ますにてぬぐひもなんにももちませぬがめい〳〵に付て居ます虫のつのとまをします蟻の手で實にきれいにふきとりますそれから此あかごたちを一日に二三度やしなはなければなりませぬ、そふして又其後あかごたちは時々場所を取かへなければなりませぬ、それはいつもてうど同じ度のあたゝかさでなければ死でしまひます、蟻はあたゝかさの度をはかる寒暖計をもちませぬのみならず、わたくしどもはへやが少しさむうでござゐますれば火鉢へ火をたくさんおこしますゆゑじゆうでござゐますがありは、もりの、へやの中をあたゝかくすることができませぬ、しかし神様はかんだんけいなしにその度を覺へますやうに敎へなさいましたからもし蟻はそのへやがあまりさむうでござゐますれば小供たちをそこよりもつとあたゝかい處へつれてゆかなければなりませぬ、毎朝日がのぼりますとありは小供

たちを大陽のあたります二階へひとりごゝつれてゆきますそふしてそれから日がなくなりますまへにさむい夜風にあたりませぬ處の下のへやへまたあかんぼうたちをつれてかへります、この事をよくあきませんでありがいきて居るあいだ毎日いたします、それゆゑこの仕事はなか〳〵やさしいことではござりませぬ、實にこんなことは勉强のよいてほんではありませぬか、これからしごとしの方をみます、

此處でも私共は同じことを學びます、仕ごとしは、みなこの大きいなかまのために食物をたくはへなければなりませぬ、みな朝から晩までこんよくはたらきましてなかまへ食物を送りますためにべんきやうします、勉强に付てありのしごとをみて學びますならばこれよりは勝た學校は世界中にございませぬ、ありのなかまにはなまけものはございませぬ、どれでも何かして居

ます一疋は麥つぶを、また一疋はしんだ蠅、またほかのものは、さとうのこぼれ、またほかのものは、うちで何かにつかいますつもりで、ちひさい木のはじを持て歸ります、あなたがたはごらんなさいまし、若し蟻がはちのやうなものまたなんでもしんだむしをみつけますならばたとへば其しがいが自分ひとりで持てないほど大きくございますればいそいで仲まへいつて二三疋のてつだひをつれてまゐりまして其おほきい死がいをかついでゆきましてうちへかへりますまで決しておろしませぬ、さるおかたが一疋のありがたひらな處でやうやくもてます程おほきい木のはじをひきづつてゆきますのをみましたそふしてそのありがとふ〳〵穴の歸り道に高い處へまゐりましたありはこのたかいところへあがろふと思ひまして四五度ほどやつて見ましたがころがり落るのでどふしてもそれを持て上ること

ができませんでした、てうど其時にほかの二疋が通りかゝりましたそれゆゑ前のありはいままゐります二疋の處へかけてまゐりましてそふして自分のなんぎをはなすやうにみへました其時に二疋はかへつて其ありを助けてたかい處へあがりました、そふして前のありを置てまた平な處へかへりますと直にそれから二疋は自分たちの仕事をしにまゐりました、ありは何か用がなければ決してうちから出ませぬそふしてまた歸る時は何か持つかまたは自分たちにてうほふなことか、ほかの者をたすけるによいことをみつけましたことなどのしんぶんをもたなければ歸りませぬ、そふして若しあるありがさとうのこぼれまたはぱんかまたはどんなくだものゝこぼれでもみつけましたことを仲まへはなしにまゐりますとたとひ一りのこぼれがおゝきい家の一番たかい二階でござゐましても直にみなよつて

列を為しまして案内者のうしろについてまゐります、こぼれのあるところへまゐりますれば仕事をみなじぶんのうちへはこんでしまわないうちはちつともやすみませぬ、ありはあさからばんまではたらきます、そして月夜の時にはまた夜中はたらきますことがたび〳〵でござゐます、此ことについてありはわかきものにもまたとしよりにもなまけものにはまことによい手本でござゐます、それゆゑ私共は決してこんなたつといちいさい者をいやしめてはなりませぬ、わたくしどもは勉強まには仕事にあきていやなこゝろもちになります時にはありをみてその行を考へてかしこくをなりなさいといふ本文をかんがへるがよふござゐます

これまでのけいこは勉強の事でござゐました第二はたゞしのぶことに付てゞござゐます、ありのたえしのぶことのいちじる

しきことは其べんきやうのことでござゐます、蟻は何事に於てもどのやうなこんなんがござゐましても決して力をおとしませぬやうにみへます、若しあらい馬か牛がありのゐる處を通りまして其家をこわしますならばありたちはなにごとをやめても直にその家を造りはじめます若しもまたこんなことが毎日ありましてもやつぱりそふされるのを志かたがないと思てこわされたのをとりのけてきれいにそうじいたします

さるおかたが一度こわされたあり山をながめて居りました時に其おかたは一疋のうばが山のくづれる時そのほそいちひさい足をとられましたれをみました、けれどもそのありは直に自分たちのあかごを大丈夫の處へつれてゆきますのをてつだひはじめました、此ありはれなけがをしたありは家をつくろふてしまふまで別の處へやうやく十疋のあかごをはこびこんで志ま

ひました、このたへしのびましたことは實におどろくべきことでございます、ありは自分たちがどれほどよいことをいたして居りますかしらず〳〵に大そう大切な成果をしますことをこのやうにして教へます

昔時テーマーデーターターとまをします名だかい勝利を得た大將としられて居りました王樣がございました或時一度この王さまがいくさにまけましてとりこにされますかまたはころされますかのふたつの危き場合にのぞみましたからよんどころなくにげましてたいそうすみあれてをりますいへの中にかくれどころをおさがしなさいまして其處にしばらくおいでなさいました、その時に王さまはごじぶんのお家來からおはなれたゞおひとりで助けなくまたこのつぎにはどのやうなことがおこりますかしれませんでしたからだん〳〵自然とかなしくな

り勇氣も折れてこれからどういたしませうかと考へながらそのすみあれた家のゆかの上にながくなつておやすみなすつていらつしやいました時に、一疋のちひさいありが自分のなりぐらいなものをかつぎあるいてゐるのをごらんなさいました、王さまはそれをみて蟻がゆかをあるきます通りにそれに目を付ていらつしやいました、そのとき遂にありはかべ此處へまゐりまして其荷物をもつて上がろふといたしましたがにもつがあまり重うござゐましたから荷物といつしよに落ちました、けれどもちつともくつしませんでまたやつて見ましたそふしてまたおちました登りてはおち、落ちては登りたび〳〵このやうふいたしましたが猶このちひさいありはよくたへしのびましてそれをやめませんでした、テーマーはたいそうそれをおもしろいことゝおもつて居りましたありは六十九度あがろふといた

しまして六十九度ながらおちましたが七十度目にやう〱上ることができそふ一てとう〱其荷物をかべの上へはこびましたテーマーは此事により大そう心に感じ今迄くつしたこゝろもたちまちはげみました其後もとの通になつてこのことを御家來にはなしましてこのことが大そう私をはげましましたそふしてわたくしはこれを決してわすれませんと申しましたテーマーは蟻の行をみてかしこくなりました人の一人ともまふされませう、あのお方は、たゞ志のぶといふことをこのありでけいこなさいました、これはわたくしどもが學ばなければなりませぬものゝうちで最も大切なことでござゐます世界でよい人また名高ひ人はこのけいこをかならずなしましたそれゆゑ若しも私共がよくなりまた名高くなりたいと思ひますればそれをまなばなければなりません、

よいことをはじめますにはどんなちひさいうちからでも早すぎることはございませぬ、それゆゑみなさんのうちで一番ちひさいかたまたどんなあかごでもこのことを毎日けいこをしなければなりませぬ、

私は決してできないとおつしやることはいけません言です神さまの助と自分がためすことでたいていはできます、ふるいことわざにたゞしのぶことはよろづのことにかちますと云ふことがございます、ありはこれをよくおぼへて居りましてそれをよく行ひますやうに見へます、

あるうちのかどでたいてい九ツくらゐな男の子が大きい車をまはして居るのを或婦人が通りかゝりて見ましたこの子供は毎日五時間づゝこの大きい車をまはしまして一日のちんせんが只十八錢ぐらゐでございました、この子供のおつかさんは病

氣でございましたからこの子はおつかさんを助ける爲に何かすることができますのをよろこんで居りました、あの婦人が此子におまへさんはこんなおほきい車をまはしてくたびれることはありませんかと問ひかけましたらばはい時々とこたへましたそれゆゑ又其婦人が其時にはどうおしだとたづねましたら私は其時にハ右から左へと手をとりかへますとまをしました、これは實によい答でございました、この子どもは前にまをしましたことわざをしりましたそれをよく行て居りましたきつとこの子供はのちになだかくなりますことはうけあひでございます、どうして手をとりかへますかと云ふことをしりますのは大切なことで若しあなたがたがおやのなさるなといふことをしたりまたくたびれるとじきにぶつ／＼いつたりないたりすることをなさるな、たゞ其やうなときは此子供がほかの手にとりかへたやうになさい、なんでもたへしのぶことはきつとよろこびのものにかちます、

さあこれから第三のけいこにかゝりませうこれは一致するけいこでございます一致のけいことは、私共は一致してそふしていつしよにはたらきますことの利益を學ぶことでございます、一ッのありを取てごらんなさいなんとそれは實にちひさいものじやございませんか、あなたはありをいきでふきとばすことができます、またあなたのちひさいゆびでつぶされます、若しありが一致して居りませんで一ッ／＼かまたは六疋か多くとも十二疋位づゝわかれて居りましたならばそんなちひさいなかまはじきにたねがたへてしまひませうけれどもありはみないつしよになつて居りますから大そう勢よくそふしてその家をたてるにもまたたくはへをするにもまたそのあかごたちを氣を

つけるにも又めい〳〵あぶないことからのがれますにもべん利でございます蟻はこのことをよく志つて居りましてみな志かと一致して居ります今申しました通りありはいつちして居りますゆゑたとひたび〳〵そのなかまがずゐぶんころされることがございましてもつきて志まふことはございません南アメリカのあるところの河は一年に一二度は水がまして其國は洪水のやうでございますこんな處ではありは土の上三尺から六尺くらゐ高くうちをたてますそれは昔しバベルと云ふ高い塔をたてました人たちのやうにその洪水でながされるのをふせぐ爲にそういたしますけれどもそんなにいたしましてもやつぱりながされることがございますある時には最もたかいうちの一ばんたかい處を水がこしますことがありますそんな時にはありは何もれもひませんで只いつ志よにれぼれるのをま

ぬかれやうといたしますその志かたはこういふふうにてなかまのうちで一ばんじやうぶなありがさきにゆきましてある木の枝に志つかりつかまりますその時にほかのがゆきまして其あとへつかまりそれからだん〳〵につながりまして數千のありが一所になりまして恰どくさりのやうになつてそふして水の上へうかんでこうずゐがやみますまでさい志よのつよいものがいかりに成て木にちやんとつかまつてをりますそふして洪水がひきました時にみなうちへ歸りますこのやうにありたちはその一致をこのみますゆゑこのやうなほろぶべき時でもたすかりますかをこの處でわたくし共は知りますありの一致しますことはたゞたすかるばかりでなくたくさんのよいことをいたしますにも大そうべんりでございますもしそんなに一致して居りませんでしたならば決して何もいたすことができませ

んでしたろう南アメリカのあるところではありが其ところをそうぢ人のやうにはたらきます毎年一二度はなか〱みわたされないほどの數萬のありが出てまゐりますそれはそのところをそうぢするつもりのやうでございますそれゆゑそのところの人たちはそのでゝきますのを大そうよろこびましててんでにうちをあけてをりますありはてうどそなへをしたぐんぜいのやうにそなへをしてはいりますその時ありはへやのすみ〱までどこのあなでもものおきでもどこへでもまゐりまして而してねづみやはつかねづみやむかでやさそりまたほかのむしをかりつくしてそふしておしまひに成たときはじぶんたちのでゝまゐりましたもりの中へしづかに歸りますイギリスのある貴人が一度そこにすんでおいでなさいましたがこのおかたは毎年ありがそうぢにまゐりますことをぞんじませんか

らせんさくもいたしませんでしたそれゆゑそれについてくわしくございませんでした或朝このかたがにはをあるいておいでなさいましたときにこのかたのけらいがありがきましたありがきましたとさけぶのをおきゝなされましたけれどもあのかたは其ことをちつともごぞんじでございませんでしたからようございますうつちやつておきなさいとおつしやいましたおかしうちへはいる時にごじぶんのうちへてうどながれのみづのやうにたいてい一尺位なはゞにれつをたてゝ水がながれるやうにありがはいりこみますのをみつけましたそれゆゑあの方はほうきをとつてありをみなはきだそうといたしましたがむだでございましたからまたあのかたはみづをもつてきまして蟻のまへゝこの水をこぼしましてほふ〱へはいりこみますのをとめやうとしてみましたがそれでもありはなかまのか

ちだをくんでみゞの上へはしをこしらへましてずん〳〵通りこしてなほおくの方へはいりましたそれからあのかたはにたつてゐるおゆのはいつているやくわんをもつてきましてそふしてそれをありの上へそゝぎかけました、けれども一寸ありのそなへをみだしましたその數萬をころしたいていみなころされたやうでもまたぢきにまへよりおほくあつまりましてもとのやうにれつをたてゝすゝんでゆきました、此イギリス人はすつかりありにまけて志まひましたゆゑあのかたはよんどころなくうちをあけわたしました、そののちぢきにあの方は夕かたまでようたしにでかけなければなりませんでしたからおもてへまゐりまして其土地の人にその日あつたありのことをはなしましたらばそのくにの人たちは其事はよつぽどよいことゝ思て居りますとあの方にまをしました、イギリス人はあたまをふ

りましてそれではもーあなたがたはこんなことをよいことゝしておいでなさるほどならばこのくにはあまりとんでをりませぬとみへますとまをしました、志かしばんにうちへ帰りましたときにあの方のこゝろもちがちがひました、なぜなればあのかたのうちはいろ〳〵なむしが太そうをりましたがあの方が帰りました時にはもうありも一疋もうちにをりませんでしたがたゞありがたべて志まひましたあとのねづみやはつかねづみのほねまたあぶらむしのはねまたはあしなどがざしきぢうにちらかつてをりましたのをみつけました、ありはみな帰て志まひましてそふしてうちはすつかりむしがりができて志まひましたからでござります、これは志つに福なことでございました、こんなちひさいものがでんどうしのやうにまゐりましてそふしてよくそのでんどうをじふぶんにいたしきよくま

たきれいにすることができましたけれどももしありはみな一所に一致してをりませんでしたならばこれだけのことができませんでしたろう私共もそれとおなじことでございます一國また教會日曜學校また家族のうちにても一致して居るといふことは實に福なことでございます私共が一致して居りますれば大へんなわるいことをさけうふして私共がはなれ〴〵になつて居りましては決してできないほどのよいことでも外の人にしてやることができます私共は凡て國のうちまた教會又日曜學校やかずくの内にでも一致することをつとめますやうにいたしませんならばなりません、一致することには丈夫なこと又安全なることまた福なことなどの利益がございます、それからまたわたくし共は大切なけいこをありから學ばなければなりません、それは親切なことのけいこでございます、蟻は

そんなに用がありまして大へんにはたらかなければなりませんけれども大へんに福な仲間のやうにみへます時々其なかまは一寸のあひだ一所にやすむ時がありますそふしてその時には皆たがひにおもしろくたのしみますやうに見へます、こんなときにありの一ばんおもしろいあそびはすまうをとる事やかけつこをすることでございます、ありにおじう氣を付てごらんなさる方がいふにはありのあそびをみて居るほどいろ〳〵おもしろいことはございませんとまをしましたあるおかたがこのやすみのときにみましたらあるありは人が子供をおぶいますやうに互におぶいあひますことを大そうおもしろがつて居るやうにみへましたと申しました、おぶつておろすときにおたがひに大そうしづかにいたします、みなさんも蟻のあそぶのをみておとなしいことをおまなびなさい、ありのなかまのう

ちには自分がつてなこともなにもございませんやうです、そのなかまの一ツが自分一人でもてないほどのおもい物をになはなければならないときにはほかのがまゐりましててつだいます、互にたすけよと私共にまをされてある聖書のおきてをありたちハ實によく守て居ります、そふしてなかまのうちでこまることもまたつかれて居るものがござゐますればみなそれをあはれんでそふしてできるだけたすけまたなぐさめてやります、ある時蟻に目をつけてお出なさるかたがいちどはさみでありのひげをおきりなさいました、そふするとよほどよわつた樣子でござゐましたがちきにそこへなかまがまゐりましてそれをあはれみなぐさめてそふして自分の口からちすきとふるやうな水をだしてそれをきづへつけてやるやうでした、また時々しごとしの仲間でだれか仕事をする時はあやまつてけがをしますと

病院のやうにしてある一ツのへやへ其者をつれてゆきまして其者のきづがすつかりよくなりますまでそこに居てよく養生致させます、けれども若し其者が癒らないかまた、もう、やくにたゝないやうならば少しも其ものをいたはりませんでそのからだをほかへすてゝしまひます、さてまたあかんぼうをやしなひます時にはうばはいつでも其中のいちばんちひさいのからさきにやしなひますがそのとき大きいのは決してそのたべものへさはりませんでじぶんたちの弟や妹たちがやしなはれてしまつて飽足るまでおとなしく待つて居ります、これはまことによいおてほんでこういたしますことはみな私共の中でもちひさいものによくしたがわれます、また若しなかまのうちがおそわれおびやかされますならばほかのものはみな一所になつてふせぎます、ありたちはいつでも互のあんぜんを得ますやうに

計りて居ます」、またほう〳〵をあるきますものはうちをたてたりまたは子供をやしなひますもの、ところへ食物を持てまゐります、そふしてそとへでましたもの、内でだれでもよいたくはへもの、かたまりをみつけますとうちにのこつて居るものにそれををしへにゆきますそのときできるだけ早くかけだして歸てきましてみんなに其みちををしへます、或る婦人がみつのつぼへありにつかれたことがございました、それからそのをんなはつぼからありをとつてしまひふたゝびありにつかれないやうといろ〳〵にくふうをしてみましたがどうしても善考ができませんでしたから、つひにあの婦人はそれをひもでゆわへまして天井へつるしましたがまだ其なかまたつた一疋のこつて居りました、このちひさいありはこのおんなの目をぬすんでそのうちにはいつて居りました、そふしてそのありは其あま

い海の中にたつたひとりになりましたからじぶんのたべたいほどたべました、それからありはひもへのぼりまして天井まではひあがりました、それから天井を走てかべをつたはりさがりまして近道からずつとうちへゆきましてうちへはいると直にみつのある所をみつけたことをしらせましてそふして其道をわすれないやうにしておきましたとみんなにをしへました、そふすると直になかまの大ぜいがそのことををしへたありについてゆくやうにしたくいたしましてみなちやんと列をいたしてゆき、それををしへにまゐりましたありはその列の頭になつてみなそのひもをつたはつて幸ならむともいふべきみつのつぼの中へみちびきました、そふするとみないちどきにみつへかぶりつきましてみなたべたいだけたべそれからてん〳〵にもてるだけしよいましてそふしてうちへ歸りかけました、わづか

なうちにそのひもにつたはつてゆくのとかへるありがふたすぢになつて居るのをみました、これは即ちひとすぢはみつをたくさん志よつてのぼりまたほかのほうはなにもなしでみつのつぼの中へはひおりるのでござゐました、ありはみつのつぼをきれいにそうぢ志てしまひませんうちは決してやめません、それから其後この女がそのみつのつぼを天井からおろしました時につぼの中はからつぽうでござゐました、ありはもちろん第八の誡をきいたことはござゐませんでしたからぬすむといふことのわるひといふことは志りません、それですからありはなにでもみつけ志だいほしいと思ひますものは手をだすはわるいと申されません、よしあしを知りませんから志かたがありません、今私がまをしましたのはありはじつにひんのよいちひさなものですといふのをおしらせまをすのでござゐます、ありは

ていねいで志んせつまた温順またなさけぶかくござゐます、そふしていつでもたがひにたすけまたなぐさめあひますそふしてすこしも自分がつてなことはいたしませんでよいことはみな共にいたします、かういふことはまさつたことでござゐます、若し私共はこういふことをありのまねをしますならわたくし共は貧しいものやあはれな者に志んせつでござりませう、「ニウゼランド」といふ島のあるむすめが「イングランド」へまゐりまして居る間にキリストを信じまして終に信者となりました時にこのむすめは自分のほん國へ歸てれともだちや親族にキリストのことを志らせたいと望みました私共はキリストをあいしますやうになりましてそふしてキリストにつかへますことはいかにも幸でござゐますとおもひます私共はまだ福音を志りません人々の中へこのよろこばしきおとづれを志らせた

いとおもひます私共はなんでもよいことは自分ばかりみたりきいたりしてしまつて居られるとお思なされますか、私共はありからしんせつな事のけいこをならひます、わたくしどもは第五即ちいちばんおしまひにさきのことを考へますといふけいこをいたしますためにもう一度ありをみませう

あなたがたはとほめがねといふものをごぞんじでせうこのめがねはとほくのものをたやすくみられますきかいでございます今もし私共は未來のことをみられるやうに同じきかいをえられますればそれは實にたいしたはつめいでございませうそふしてもしこのきかいがはつめいされますればこんどそれをみらいをみとふすめがねと申されませう、そふしますと年のはじめ私共はみらいをみとふすめがねを一寸のぞきまして其年のうちにどふいふことがありますといふことを一寸のうちに

みな知ることができます、いつあめがふりますかまたよいおてんきですかそふしてだれがいつ病氣になりますかまた丈夫でございますか又だれが死にますかまたながいきをしますかわかつてしまひませうしかしこのことはあまりよすぎて却てわるうございませう若し神さまがこういふことはよいことゝおぼしめしなさいましたらばこんなきかいをくださいましたでせうがそれはよくございませんからかみさまはそふいふものを下されませんでした、けれども其かはりにかみさまはわたくしどもにみらいを考へることを教へなさいました、そふしてこのさきを考へますことをありは實におどろきますほどよくいたします私はこふ申ましてもありは私共のやうに道理など考へるといふわけではございません、けれどもありはちやんとそふいふことを考へて居りますやうにいたします神さまは丁度

鳥や、はちや、うみだぬき、などにお教なさいました通りにありにも考へることはしませんでもなにをしなければならないといふことをお教へなさいました、之を天然のちゑとまをしますたれも天然の智慧といふことはしりませんが唯私共はならひましたり考へていたします併しこのことを蟲けものは考へることもならひます事もなしにいたしますことが即ち天然の智慧でございますありはばんぺいやかんじやまたつかさもございますけれども夏の中に其にくをたくはへまたかり入の時に其食物をあつめますとソロモンが申てゞございます、前にありは食物をたくはへて置きましてそれで冬の間くらしてまゐりますやうに思われて居りました、さむい氣候の處では冬になりますとありはしんたいがしびれましてねむつたやうになつてそふしてなにもたべませんけれどもソロモンがすまいました國

のやうにあたゝかい氣候の處ではそふではなく冬に成てもありはしびれてねむつてしまふやうにそんなにさむいことはございません、けれどもそのかはりにながあめの氣候があつて其間にありは食物をあつめに出ることができません、この氣候のあひだにはありはまへにたくはへておきました食物で命をつなぎますこういふやうにしてありは私共に末を思ひます事を教へます、蟻とばつたのつくりばなしがござりますなつがすぎましてだん／＼さむく成てそふしてう゛ゑてもうしぬばかりになつて居りましたかわいそうなばつたがございましたそふして其ばつたがどうかしてありがまへからたくはへて置きましたものでたいそう幸にすんで居る中間に近くゆきました、そこであのばつたはそのなかまの十分なひようろうのうちからひとかたまりをめぐんでくれますやうにていねいにねがひました

そのときに一ぴきの蟻はばつたにおまへさんはなつのあひだになにをしていましたかそふしてどふして私共がいたしましたやうに食物をたくはへる事ができないのですかとたづねましたらあなた實にざんねんなことには私は其時にはのんだりうたつたりはねまはつたりしておもしろくたゞゆくわいにすごしてしまひまして冬の事などはたゞの一日も思たことはございませんさ、このうゐてしにかゝつているばつたがまをしましたもしそふいふわけならば私はたゞだれでもなつのあひだにのんだりうたつたりはねまはつたりしてあそびます者は冬になつてうゐてしにをしなければなりませんとまをすのみでございますとありはいゝはなしてしまひました、私共はありのてほんにしたがひましてわかいあいだにこのしやうがいのみらいのためにしたくして居らなければなりません私共のわかい

時は丁度なつやかりいれのしせつのやうなものでございます、このときはわたくし共がせいちやうしました時になにをすべきはづでございますかちやんとおぼへてしまひます時でございます私共ハできるだけけいこにべんきやうして要用なことまたちしきをたくはへなければなりません、こうしますれば成長いたしました時にわたくし共は調法なものに成て幸にくらすことができませうけれどももしこの夏のばつたのやうになにのこととも思ハずに氣をつけなく不勉強でたゞたのしみにのみふけつて居りますならば成長しましたときに無學でなんの用にもたちますまい、それですからみなさまありからこのみらいを思ふ事をおならひなさいそふして今よいくせをおつけなさい、べんきよう家におならひなさい、かんにんつよくなさい、いまあなた方はなんでもできるだけのことをお學びなさい、そふし

ますとあなたがたがひろくつきあひをします時に何事もよくする事ができませう、そふして人にあいされまたうやまはれませう私共はありの手本にしたがひましてみらいのいのちのためにしたくしてれかなければなりません、其生命は決して終がございませんいま生命といふものはみらいの生命の爲にしたくしますやうに神さまが私共にくださいましたかり入の時でございます私共は前にみらいのためにしたくするやうにさきのことを見通すきかいのことを話しましたそふして私共はそんな器械を持て居ます聖書は即ち私共の永遠のためのみらいを見通すめがねでございます、私共ハこのめがねで死にましてから幸にしますにはどふいふやうにいたしますればようございますかといふことをみることができます、其眼鏡は私共にめい〳〵の罪が赦されてまた心が變てしまはなければならない

といふこととキリストをあいしてそふしてよくつかへなければなりませんといふことを示しますそうしますれば何でも私共が神さまのためにしますことは自分のためにたくはへて置ます食物やおかねのやうなものでございます、永世はてうど其ながい冬のやうでございます、どなたでもキリストをあいし又つかへませぬかたはをはりになりましてもなにのしたくもございません、さる處に大さう富で居る貴人がございましてばかを一人かゝへて居りました、このばかのつとめはつまらないばかげた事をしてろのまはりの人をわらハせてにぎやかにするのでございました貴人がばかにおまへよりもつと上のばかゞでるまでこの杖をおまへのつとめのしるしにあたへますからしまつておきなさいとまをしまして一ぽんの杖をやりましたそれから二三年後に其貴人は病氣になりまして死にそうでご

ざいましたばかが見舞にまゐりました時は貴人は私はもうちきにおまへにわかれなければならないとまをしましたそのときにばかがそふしてあなたはどこへいらつしやいますかととひました一月ぐらいでおかへりになりますか、いゝへ、一年のうちにでございますか、いゝへそんならばいつでございますか、決して再びかへらないのさ決してですかそふしてあなたはそんなながい道中へまたおいでなさいましたさきでさいはひにおくらしなさいますためよどんなおしたくやおたくはへものをなさいましたか、とたづねましたらなにもしない、そんならあなたは私のこのつゑをおとりなさい、わたくしはこれほどのばかではございません、なんのしたくもしないでかぎりないところへゆこうとしますことはこの上もないおろかなことでございます、といひましたなんとこの通りではございませんか、私共は

勉強なることと守ることと一致することとしんせつな事とそふして末を思ふことのこれだけの五ッの科をありからならひましたそふしていま私共はみな一所にこれだけのけいこをよくすることができますやうに私共をおめぐみ下さるやうに神さまにねがひませう、そふしてわたくしどもはどういふことをいたしますはづでございますかを心の目でみることとまたさとることができますやうにそふしてまたそのことをじうぶんに志とげますやうに恩と力をもたれますやうに神さまにおいのりなさいまし、そふしますれば私共はありのそばへいつてその行をみてかしこくなるといふことと、をしりましてわたくしどものよいことをいたしますことができます、

明治廿一年十一月五日印刷
明治廿一年十一月八日出版

東京府士族
編譯兼發行者　淺井元光
小石川區小日向臺町
一丁目五番地

印刷者　廣瀨安七
東京日本橋區兜町
壹番地製紙分社

蟻を見て學べ

020213-000-1

特17-436

蟻を見て学べ

浅井　元光／訳

M21

ABI-0012